

認定こども園昭和幼稚園 平成27年度

学校評価公表シート（自己評価結果）

1. 認定こども園昭和幼稚園の教育・保育目標

幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、ひとりひとりをのびのびと心豊かに育てる。そして、集団生活、遊びを通して、人とかかわる力、心情、意欲、態度を培う。保育を必要とする子どもの生活を保障すると共に子育ての支援をする。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

本年度からの幼稚園型認定こども園移行に伴い園側はもちろん保護者にも新制度の理解を促し 保育所機能部分を構築する。現況の子どものあり方を直視し、子どもの最大の利益を優先に考え 保育を必要としない1号こどもと保育を必要とする2号こども、さらに2才児の3号こどもの生活を子ども主体に保障する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組み状況
幼稚園の教育課程の編成を、学年単位、異年齢交流保育のチーム別の実施に於いて、教職員間で共通理解をする。保護者への周知徹底を促す。	平成18・19年度、幼児教育センター指定園としての発表後も、大阪教育大学名誉教授、現在平安女学院大学教授の早川勝廣先生の指導を受け継続研究をしている。 幼稚園生活において異年齢交流保育を3年間経験する事によりしっかりと子どもの育ちが受けとめられる。 年度末における保護者へのアンケートにより、年度を増すにつれ確かなものになり、当園のあたりまえの保育になってきている。そして、異年齢交流保育における子どもの育ちが期待されている。 本年度より認定こども園に移行したため教育時間後の保育においても異年齢のかかわりを考え、新制度におけるふさわしい保育を創造する。
本年度の幼稚園型認定こども園移行に伴い保育者の労働形態や、現況の子どもを通じて教育と保育の部分を構築する。	社会的ニーズに応えられる幼稚園として、預かり保育、地域との交流、幼小連携、発達相談等さまざまな面において検討する。新制度に移行し、11時間開園が通常なものになった。土曜日の自由登園日 午前中は1号こどものホームクラスになり、2・3号こどもでは、終日 認定を受けた者の利用時間内保育日となった。 時間が長くなるにつれ、保育士不足が課題になる。現教職員達の理解が必要となる。
教育・教諭の質の向上のための園内研修を深める。	子どもの育ちを保障するうえでも、学期末に講師と共に総括し検討し内容を充実させている。チーム別に毎週1回異年齢交流保育「なかよし」を実施するにあたり職員間の話し合いで子どもの予想される姿を捉える。職員同士共通認識し、子ども理解が深まる。実施後反省会、報告会を持ち次の保育につなぐ。

<p>保護者のニーズの把握と共に幼児期の育ちにふさわしい環境を浸透させる。</p>	<p>保護者懇談、保育参観、行事参加、異年齢交流保育や、行事後、保護者へのアンケートや感想文を実施。回収後統計をとり、まとめ、結果を考察し、園の考えを示す。 新システム移行にあたり、アンケートや意見により 1・2 号こどもの保護者の行事日程や保護者会のあり方を次年度への課題とする。</p>
<p>食育について考える。</p>	<p>食を通じて食事に必要な基本的な習慣や態度を身に付け感謝の気持ちを育てる。 週 3 回の給食で、今まで食べられなかったものが食べられるようになる。 アレルギー疾患における除去食について、教職員の共通認識を深める。 子どもたちが植物の栽培を通して食材を身近に感じ、食べられなかったものが食べられるようになる。 大正区食育推進ネットワークが取り組む食育展にパネル参加するにあたり保護者へのアンケート調査実施により、当園の子どもたちの家庭環境が把握できる。 教職員はもとより保護者の食育への関心、意識を深める。</p>
<p>安全管理</p>	<p>認定こども園に移行したため、園で過ごす子どもたちの時間が長くなる。そのため より警察や地域との連携を深め子どもたちの安全を守る。行事の時は関係者以外の来園を阻み、許可された来園者にはりボンをつけるようにする。</p>

4. 学校の評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p>	<p>取り組むべき課題について全教職員が共通認識し、それぞれ自己評価し、学期末ごとに取組状況を話し、講師の助言、指導を通して本園の教育内容が明確にされ実践する意味が把握できた。 幼保一体化をふまえた 1 号こどもの預かり保育、2・3 号こどもの利用時間内の保育が子どもたちの中では今までのホームクラスと変わりなく展開した。 未就園児クラスにおいては 3 号こどもと週 3 回の保育を必要としない子どもたちが共に遊ぶことにより、3 号こどもの日々の生活にも変化があり楽しく過ごすことができた。 新制度に移行し、現場も行政も初めてのことなので、戸惑いや遅延は当然である。その中でも一年を終えることができたのは評価して良いと思う。</p>
--	--

※「4.」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
園に対する保護者のニーズと保育所機能	<p>建学の精神、私学の独自性を考慮し、また現況における子どもの育ちを配慮しつつ、且つ保護者のニーズに応えられるように職員配置と勤務形態を考える。それと共に保護者に幼児期での親の存在の必要不可欠性を理解してもらう。</p> <p>1号こどもの早朝お預かり「キッズモーニング」及びお預かり保育「最終延長（19時まで）」、11時間開園、長期休暇中のお預かり保育を検討し、保育部分を充実させるよう努力する。</p>
情報公開	<p>現在 園だよりや参観日、ホームページ等を通じて保護者への周知徹底に取り組んでいる。また、今以上に地域一般の方にもホームページやお知らせボード等を利用してもらえるよう検討、工夫をしていく。</p> <p>今までの「SHOWA だより（年4回発行）」の新聞折り込みは廃止、めだか教室・わんぱく広場・キンダーカウンセリング・ルビー&ゴールドふれあい広場等の案内募集をお知らせボードで園外に知らせている。</p>
安全対策	<p>火災・震災に対する避難訓練実施、および防犯・防火教室の実施。</p>
個人情報の管理	<p>園児の個人情報の管理が適切に行われているか、チェックシートにおいて確認する。</p> <p>携帯電話の持ち込みや園で使用するパソコン、カメラ等のデータ管理についてチェックをする。</p> <p>管理において教職員で共通認識を持つ。</p> <p>マイナンバーの適切な管理。</p>
行事日程 保護者会	<p>保護者参加行事において1・2号こどもが、共に良い行事の日程を考える。</p> <p>2号こどもの増加と共に、委員の役割や保護者会自体のあり方を検討する。</p>

6. 学校関係者の評価

委員からは概ね良好な運営をされ、また学校評価にも積極的に取り組まれている、という意見をいただいた。

今後まだまだ変わって行くだろうこの制度に対し子どもが中心になるよう現場の声をその都度投げかける必要があるだろう。そして親の就労支援にのみ終わるのではなく質の高い教育・保育を提供しなければならない。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められているが、毎年の支出超過額が増加傾向にあり、園児減と共に今後の経営が難しくなっていたが少し緩和されている。
新システム移行は運営費により園の存続がはかられ良い機会を得た。

学校法人 昭和幼稚園

平成 27 年度財務情報

(平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで)

資金収支計算書

収入の部	
区分	総計 (円)
学生生徒等納付金収入	13,794,390
寄付金収入	831,968
補助金収入	54,421,790
資産運用収入	637,414
事業収入	3,504,050
雑収入	610,584
前受け金収入	0
その他の収入	7,735,943
資金収入調整勘定	△1,377,223
前年度繰越支払資金	14,792,590
収入の部合計	94,951,506

支出の部	
区分	総計 (円)
人件費支出	46,341,560
教育研究経費支出	12,965,765
管理経費支出	9,701,200
設備関係支出	2,072,239
その他の支出	7,719,273
資金支出調整勘定	△819,040
次年度繰越支払い資金	16,970,509
支出の部合計	94,951,506

消費収支計算書

収入の部	
科目	総計 (円)
学生生徒等納付金収入	13,794,390
寄付金収入	831,968
補助金収入	54,421,790
資産運用収入	637,414
事業収入	3,504,050
雑収入	610,584
帰属収入合計	73,800,196
基本金組入額合計	△2,072,239
収入の部合計	71,727,957

支出の部	
科目	総計 (円)
人件費支出	46,341,560
教育研究経費支出	14,206,481
管理経費支出	9,826,245
徴収不能額	37,670
支出の部合計	70,411,956
当年度消費収入超過額	1,316,001

貸借対照表

(平成 28 年 3 月 31 日現在 単位：円)

資産の部		
科目		総計 (円)
固定資産		35,583,025
内訳	有形固定資産	26,906,585
	その他の固定資産	8,676,440
流動資産		934,214
資産の合計		54,134,117
負債、基本金及び消費収支差額の部		
科目		総計 (円)
固定負債		0
流動負債		934,214
負債の部合計		934,214
基本金		88,640,352
(うち第1号基本金)		(83,640,352)
翌年度繰越消費支出超過額		35,440,449
消費収支差額の部 合計		△35,440,449
負債、基本金及び消費収支差額の部 合計		54,134,117

この財務諸表は 学校会計基準に準拠し、公認会計士による監査を受けています。

監査報告書

私立学校法第37条（第4項）及び寄付行為第34条の規定に基づいて、平成27年度決算にかかる事業報告、決算報告及び関係書帳票、証拠書類並びに理事の業務執行状況について監査したところ、その事業の執行及び財務諸表の内容は、適正であることを認めます。

平成 28年 6月 19日

監事 栗畑 芳郎

監事 東堀 洋子

学校法人 昭和幼稚園

平成 27 年度

事業報告書

(平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで)

1. 法人の概要

- I. 名称 学校法人 昭和幼稚園 (大阪府公認)
- II. 住所等 大阪府大阪市大正区泉尾 1 丁目 37 番 1 号
電話番号 06-6551-1055
ホームページ <http://www.showa.ed.jp>
- III. 設置する学校
認定こども園 昭和幼稚園
- IV. 理事長氏名
大井文子

2. 事業の概要

I. 教育目標

- ・ 適当な環境を与えて、のびのびとその心身の発達を助長する。
- ・ 自分で考え、意欲を持って行動する子ども、みんなで力を合わせてやり抜く子どもを育てる。
- ・ 異年齢交流保育を通し人とかかわる力を育てる。
- ・ 保育を必要とする子どもの育ちを保障する。

II. 定員・実員学年内訳 (平成 27 年度 5 月 1 日現在) ※ () 内は 2 号こども数

	2 歳児		3 歳児		4 歳児		5 歳児		合計
	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	園児数
定員	1	5 (3 号 こども)	2	30(5)	1	30(5)	1	30(5)	95
27 年度	1	5	2	24	1	13	1	19	61

III. 保育時間 (教育)

- ・ 月～金曜日…午前 9 時 30 分～午後 2 時
- ・ お弁当日…火、木曜日
- ・ 給食日…月、水、金曜日

IV. 保育料及び諸経費

- ・ 保育料 保護者の居住する市町村が定める保育料 (利用者負担額)
- ・ 保育料以外の費用 (特定負担額) 重要事項説明参照
- ・ 保育料以外の諸経費 重要事項説明参照

V. 入園時の費用

- ・制服・体操服・カバン・帽子・個人持ち道具代（入園時）
 - ・5歳児25,000円、4歳児24,000円、3歳児23,000円程度
 - ・2歳児 個人持ち道具代2,500円程度（制服・かばん指定無し）
- ・入園料 徴収無し

VI. ホームクラス（預かり保育）

- ・平常保育日 月～金曜日…午前8時00分～午前9時00分
午後2時～午後7時まで
- 土曜日（第2を除く）…午前8時00分～午後0時

3. 行事の実施状況

- ・4月 始業式、入園式、SHOWA 保護者会総会、消防訓練、お誕生日会
- ・5月 身体測定、子どもの日お祝い、尿検査、お誕生日会、SHOWA 保護者会総会、みさき公園へ遠足（保護者同伴）、SHOWA 保護者委員会・SHOWA お母さん交通安全クラブ 合同委員会
- ・6月 内科検診、歯科検診、大阪府警本部による交通安全指導（全園児・保護者）保育参観、異年齢交流保育、お誕生日会、年長児卒園記念パネル製作、SHOWA 保護者会総会例会
- ・7月 プール、お誕生日会、七夕まつり（夕涼み会）、異年齢交流保育、終業式、夏期保育
- ・8月 年長児お泊り保育（8/1～2）、夏期特別ホームクラス（プール）
- ・9月 始業式、入園説明会
SHOWA お母さん交通安全クラブ危ないヶ所チェックパトロール、お誕生日会、秋の交通安全キャンペーン参加（年長有志）、異年齢交流保育、
泉尾北小学校での敬老会に歌のプレゼントで参加（全学年有志）
- ・10月 新入園児願書受付、運動会、おイモ掘り遠足、焼いもパーティー、お誕生日会、視力検査（年長・年中）、ルビー&ゴールドふれあい広場、異年齢交流保育、おみせやさんごっこ
- ・11月 バザー・6年会（卒園生同窓会）、泉尾高校文化祭（年長）、一日動物園、園外保育（服部緑地）、幼児防火教室、七五三詣り、異年齢交流保育、SHOWA 保護者会総会・異年齢交流保育の参観、新入園児健康診断・面接、お誕生日会
- ・12月 おゆうぎ会、異年齢交流保育、お誕生日会、終業式
- ・1月 始業式、視力検査（年少）、お誕生日会、異年齢交流保育
- ・2月 節分まめまき、作品展、お別れ親子遠足（年長親子）、郵便局見学（年長）、泉尾北小学校一年生との交流会（年長）、お誕生日会、異年齢交流保育、異年齢交流保育劇あそび発表会（保護者観劇）
- ・3月 身体測定、ひな祭り、保育参観、お別れ観劇会、異年齢交流保育、お誕生日会、卒業式、修了式、春休みホームクラス